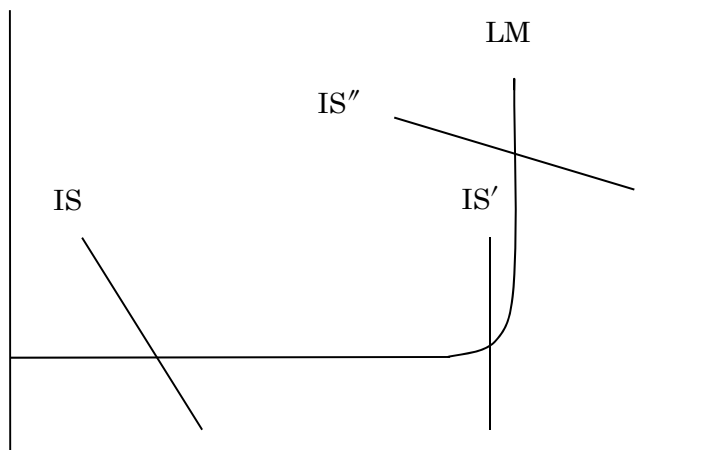


練習問題 10 (経済政策の効果)

問題 1

下図は、IS-LM 分析を示したものであるが、この図に関する下の記述のうち、妥当なものはどれか。

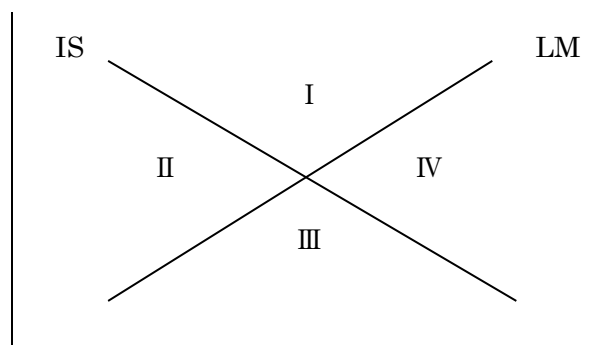


- 1 金融政策としては、貨幣供給量を増加させると LM 曲線が左方に移動するので、利率と国民所得の均衡状態を変化させる。
- 2 財政政策としては、政府支出を減少させると IS 曲線、IS' 曲線および IS'' 曲線が右方に移動するので、利率と国民所得の均衡状態を変化させる。
- 3 IS 曲線と LM 曲線の関係は、長期の不況時などに企業家の将来予想が極めて悲観的となるために投資が利率に反応しなくなり、金融政策による利率操作が所得水準の上昇に有効でない状況を示している。
- 4 IS' 曲線と LM 曲線の関係は、利率がかなり低い水準のときに貨幣需要が増大し利率に関して無限大となり、貨幣供給量が増加しても均衡利率は低下しなくなる状況を示している。
- 5 IS'' 曲線と LM 曲線の関係は、利率の変化が貨幣需要に影響を及ぼさないときには、政府支出を増加させても、利率の上昇を引き起こすだけで国民所得を増加させる事は出来ない状況を示している。

【地方上級・平成 9 年度】

問題 2

次の図に関する記述のうち、正しいのはどれか。ただし、以下の記述において、 M ：貨幣供給量、 L ：貨幣需要量、 S ：貯蓄、 I ：投資、 r ：利子率、 Y ：国民所得、である。

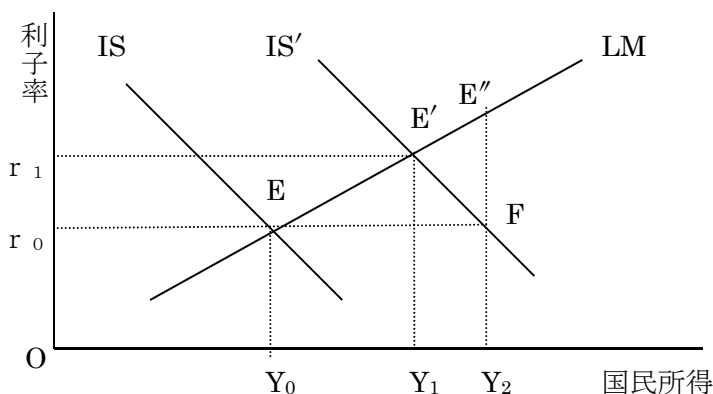


- 1 M の増加により、 LM 曲線は左方向に移動するため、国民所得は減少する。
- 2 I の領域において、 $S > I$ 、 $M > L$ の関係が成立している。
- 3 L の利子弾力性が小さいほど、 LM 曲線の傾きが急になるが、この利子弾力性がゼロになった状態を流動性のわなという。
- 4 II の領域において、 $S > I$ 、 $M < L$ の関係が成り立っている。
- 5 政府支出の増加は、国民所得を増加させるが、 LM 曲線の傾きが緩やかであるほど、クラウディング・アウトが生じやすい。

【地方上級・平成 3 年度】

問題 3

下図は、国債が市中消化され、政府支出が増加したために IS 曲線がシフトするようすを描いたものである。下文の空欄ア～ウに該当する語句等の組み合わせとして妥当なものは、次のうちどれか。



政府支出がなされる前の均衡国民所得が Y_0 で、完全雇用国民所得である Y_2 に比べ $Y_2 - Y_0$ だけ国民所得が不足しているとする。そこで、政府は国債を発行し、IS 曲線を IS から IS' にシフトさせることにした。IS 曲線を IS から IS' にシフトさせるためには、この経済における限界消費性向を c とした場合、政府支出を だけ増加させればよい。

しかし、F 点は、IS' 曲線上の点ではあっても LM 曲線上の点ではないので、実物市場の需要を均衡させてはいても、貨幣市場の需要は均衡させているわけではない。利子率が r_0 のままで国民所得が Y_2 に増大すれば、貨幣に対する取引が増え、貨幣に対する需要が供給を上回って利子率が上昇する。利子率の上昇は を減少させるので、経済は F 点から 点に移動する

- | | ア | イ | ウ |
|---|-----------------------|----|-----|
| 1 | $(1-c)(Y_2 - Y_0)$ | 投資 | E' |
| 2 | $(1-c)(Y_2 - Y_0)$ | 消費 | E'' |
| 3 | $(Y_2 - Y_0)/(1-c)$ | 投資 | E'' |
| 4 | $(Y_2 - Y_0)/(1-c)$ | 消費 | E' |
| 5 | $(1-c) / (Y_2 - Y_0)$ | 消費 | E'' |

【地方上級・平成 8 年度】